

樹木ウォッチングと名札付け

堀 泰洋（千葉市）

日 時：2011 年 11 月 13 日（日）13～15 時 天候：晴れ

参加者：25 名（大人 22 名、子ども 3 名） 指導員 9 名

担当指導員：奥村昭 佐藤一枝 堀泰洋

昭和の森恒例（？）の樹木の名札付けを兼ねた観察会を行いました。公園を訪れた方々が、木々に親しむ第一歩になればと思い、名札付けを行いました。今回の名札は、自然に優しい塗料を用いて用意しました。

天候には恵まれましたが、参加者の人数は今ひとつ。それでも、名札付けには足る人数の方々に集まっていただきました。3 コース用意していましたが、2 グループに分かれて、売店やローラー滑り台の方を巡るコースと、新しく開通したユースホステルの西側の谷を巡るコースを行いました。予め、名札を付ける予定の木には印を付けておりましたので、歩きながら参加者に発見してもらい、木の特徴を説明しながら名札を取り付けてもらいました。その際に、参加者の方には名札の裏側に簡単な感想や名前などを書いていただきました。それぞれのコースとも 約 30 の名札を取り付けました。

集合場所の東屋からショウブ田に降りていく途中で右に折れると、スギ林へと続き、シラカシ、スダジイ、コナラなどが見られます。続く斜面には花の時期は過ぎてしまいましたが、キハギ、ミヤギノハギが吹き付けられています。その先の伐開地にはイヌザンショウや葉を紅葉させた ヌルデが顔を出しています。アオキの根元には小さなハナイカダが。刈られてしまわないように立て看板を設置しました。看板を付けることでかえって目立ってしまい、持って帰られたりしてしまうのではないかという意見もありましたが、自然の中で生き物を愛でる気持ちを期待したいものです。ホオノキの大きな落ち葉やヌルデの虫こぶが落ちており、足下からその木を探してもらったり、赤と紫に鮮やかに色づいたクサギの実を見つけ、葉の臭いを感じてもらったりと名札付けを進めていきました。

参加者の方からは、「足下の草花を見ることが多かったが、いろいろな木を見ることができて違いが解った」、「場所によって生えている木が違うことがわかった」、「公園を散歩する人の役に立って よかった」などの感想を聞くことができました。

最後に、自然観察初心者の私としましては、先輩指導員のお二人にお世話になりながら、6 月くらいから下見をし、大変勉強になりました。木々の季節変化も観察することができ、樹木への興味が一層深まりました。



全部で 100 枚くらいの名札を用意しました。



もうひとつのコースではメタセコイアが人気でした。